

令和5年大井町議会第1回定例会

一般質問書

令和5年3月

通告順	質 問 事 項	質問者	(分)時間	頁
1	・「ウクライナ人道危機救援金募金箱」の盗難と その対応について問う	清水豊司	4 5	1
2	・募金箱盗難に伴い、公共施設の防犯体制を問う ・健康づくり施策の更なる充実について	清水亜樹	5 0	2
3	・法人税増収のための企業誘致について ・町内の交通安全対策について	黒岩陣太郎	5 0	3
4	・ウクライナ人道危機救援金盗難における対応に ついて ・地域防災計画について ・新型コロナウイルス感染症について	山崎真弘	6 0	4
5	・小田町政 2 期目の施策を問う	岡田幸二	6 0	5
6	・町長の所信表明について ・オーガニック給食の導入について	大石 舞	6 0	6
7	・町が管理する公共施設の管理について ・町道・農道の維持管理について ・あしがら上地区資源循環型処理施設整備について	鈴木磯美	5 0	7
8	・くらしを支える地域公共交通の充実について	和田紀昭	5 0	8
9	・子育て支援策の充実について ・デフリンピック支援と共生社会の推進について	伊藤奈穂子	6 0	9

質問者	通告1番 14番 清水 豊司 議員	通告時間 45分
		答弁者 町長
質問事項	「ウクライナ人道危機救援金募金箱」の盗難とその対応について問う	
要旨	<p>刑法犯罪は戦後、全国的にピークだった2002年から減少が続いていたが、昨年の2022年は20年ぶりに増加したと言う。そのような荒んだ世の中でも、決してあってはならないことが町に起きてしまった。それは役場庁舎のロビーに設置してあった「ウクライナ人道危機救援金募金箱」の盗難である。</p> <p>この善意の募金箱の盗難という全国的に見ても珍しく、そして恥ずかしい事件に対し、事件後の町長をはじめとする町の対応について疑問を抱かざるにはいられない。</p> <p>そこで以下の質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 1月10日に盗難が発覚してから、今日までの時系列の対応は。</li> <li>2 1月10日に紛失が発覚してから、議会への報告、また町長の言葉での謝罪、そして町長のこの件に対しての責任の表明が遅れた理由は。</li> <li>3 この件で町民から町政への信頼が失われたと思うが、町長は信頼回復に今後どのような政治姿勢で臨むのか。</li> </ol>	

質問者	通告 2 番	通告時間 50 分
	1 2 番 清水 亜樹 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項	1 募金箱盗難に伴い、公共施設の防犯体制を問う 2 健康づくり施策の更なる充実について	
要 旨	<p>1 本年 1 月 10 日に「ウクライナ人道危機救援金」の募金箱が盗難され、紛失していることが発覚している。善意である募金箱を紛失するということはない事態と考える。そこで、この事態の問題点や今後の対策などについて伺う。</p> <p>(1) 募金箱の管理について、これまでの問題点は。  (2) 今後、募金箱の管理体制は。  (3) 公共施設における防犯体制強化の考えは。</p> <p>2 来年最終年度となる健康増進計画では、「未来づくりは、みんなで支える健康づくりから」を基本理念として、健康づくり施策に取り組まれているが、更に充実した健康づくりへの取組が必要と考え以下について伺う。</p> <p>(1) 健康増進には歩くことが有効であるが、ウォーキングなどの取組の状況と今後の展開は。  (2) 町独自の歩数計アプリを導入する考えは。  (3) 健康無関心層の行動変容を促すため、健康ポイント制度を導入する考えは。</p>	

質問者	通告 3 番 2 番 黒岩 陣太郎 議員	通告時間 50 分 答弁者 町長・教育長
質問事項	1 法人税増収のための企業誘致について 2 町内の交通安全対策について	
要 旨	<p>1 昨今の経済情勢は極めて厳しく、中小企業など倒産や廃業に追い込まれていることも少なくはない。このままだと法人税の収入にも影響が出ると思うが、企業誘致や酒匂川左岸の開発などについて以下のことを伺う。</p> <p>(1) 酒匂川左岸に物流などの誘致可能な企業を誘致する考えは。</p> <p>(2) 本町に本社や営業所などを構える企業への町独自の助成や補助金などの考えは。</p> <p>(3) 酒匂川左岸の今後の町の展望は。</p> <p>2 本町においては地域柄、道幅など狭い箇所や、歩行者に配慮が足りない箇所が多々見受けられる。通学路を含む歩行者が多い箇所への交通安全対策について以下のことを伺う。</p> <p>(1) 通学路危険箇所への安全の取組は。</p> <p>(2) 道幅の狭い箇所や歩道がない場所への本町の取組は。</p> <p>(3) 交通弱者に対する今後の町の対応は。</p>	

質問者	通告4番 5番 山崎 真弘 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 ウクライナ人道危機救援金盗難における対応について 2 地域防災計画について 3 新型コロナウイルス感染症について	
要 旨	1 ウクライナ紛争から1年が経過し、今なお甚大な被害を及ぼしている。本町においてはウクライナにおける人道危機対応、周辺国への救援活動を支援するための人道危機救援金の募金箱を設置していたが、今年に入り、町民の皆さまからの善意のこもった募金箱の盗難が発覚した。本町の初期対応と今後の危機管理について伺う。  (1) 対応はトップ自らが行うべきではなかったか。 (2) 危機管理としての対策は。  2 国内外において、自然災害の激甚化や巨大地震が発生している。災害によって発生しうる感染症も考慮した地域医療体制が望まれると考えるが、地域防災計画での医療体制について伺う。  (1) 本町における災害時医療救護体制の現状と見直しについての考えは。 (2) 救急医薬品の備蓄管理についての現状と見直しについての考えは。 (3) 災害時における協定書の見直しは。  3 新型コロナウイルス感染症流行が長期化する中であるが、「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針について」が決定され、現状と対応について伺う。  (1) 学校教育活動における対応は。 (2) 卒業式・入学式等の対応は。 (3) 今後のワクチン接種の対応は。	

質問者	通告 5 番 6 番 岡田 幸二 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	小田町政 2 期目の施策を問う	
要 旨	<p>昨年 1 2 月、小田町政は 2 期目を迎えたわけであるが、1 期目の約 3 年間はコロナ対策に奔走せざるを得ない状況下であり、十分な施策が展開できなかつた面が多々あると考える。</p> <p>所信表明では、「子育て環境の充実」「安全安心なまち」「地球環境にやさしいまち」「未来に向けた効率的なまち」「地域資源を活かすまち」「障がい者、高齢者の住みやすいまち」以上、大きく 6 項目を挙げ取り組んでいく姿勢を明らかにした。そこで、今後の 4 年間の取組についての以下の課題と対応を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 多世代交流施設の新設を挙げたが、具体的な進め方は。</li> <li>2 学校給食費無償化への道筋は。</li> <li>3 国際化に向けた人材育成は大切であるが、学力しかり健全な身体が基本となるが体力の把握はできているか。</li> <li>4 防災機能強化と意識の向上とあるが、「防災作文」や「防災小説」により、広く町民の意識向上を図る考えは。</li> <li>5 狭あい道路の拡幅とあるが、喫緊の課題である水路溢水についてはどう対応していくのか。</li> </ol>	

質問者	通告 6 番 1 番 大石 舞 議員	通告時間 60 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 町長の所信表明について 2 オーガニック給食の導入について	
要 旨	<p>1 小田町政 2 期目が開始された。町長選挙では、今後の町政について重要な政策が論じられた一方、投票率は過去最低の 38.75%であり、全体の関心や期待が高いとは言い難い状況である。議員として、町政に関心を持って頂くよう努力する責任を痛感するとともに、町政のさらなる前進のため尽力する必要がある。町長の所信表明について、現段階での具体的な計画や町長の思い・決意を町民に周知する観点から、以下について伺う。</p> <p>(1) 子育て施策として、多世代交流拠点の設置、使用済み紙おむつの回収、就学援助受給者の拡大、小中学校の給食費の軽減等を挙げられているが、現段階での具体的な計画は。</p> <p>(2) 環境施策として、使用済み紙おむつのリサイクル事業や地球温暖化防止対策、ゼロカーボンシティを挙げられているが、どのように進めるのか。また、大井町環境基本計画との関わりは。</p> <p>(3) 障がい者、高齢者の住みよいまちづくりについて、現段階での具体的な計画は。</p> <p>2 オーガニック食材は、身体によく環境へ負荷をかけないとして、世界で注目されている。日本の自治体でも、オーガニック給食（有機給食）を導入する自治体が増加している。町の認識を伺う。</p>	



質問者	通告7番 8番 鈴木 磯美 議員	通告時間 50分
		答弁者 町 長
質問事項	1 町が管理する公共施設の管理について 2 町道・農道の維持管理について 3 あしがら上地区資源循環型処理施設整備について	
要 旨	1 町も老朽化する公共施設の統廃合等検討されていると思うが、今後の施設管理等について、以下のことについて伺う。  (1) 大繩町営住宅の現状と今後の計画は。 (2) 第6分団詰所の跡地利用及び消防車両の処理計画は。  2 少子高齢化等社会情勢の変化に伴い、今後の維持管理が深刻な状況となることが懸念されるため、以下のことについて伺う。  (1) 町道8号線の法面对策の現状と今後の対策は。 (2) 地元自治会や農道利用者との協力が必要と思われるが、今後の維持管理に対する町の考えは。  3 昨年の第1回定例会において「あしがら上地区資源循環型処理施設整備について」質問を行い答弁があったが、さらに議論を深める必要があると考える。そこで「南足柄市・足柄上地区ごみ処理広域化実施計画」の進捗状況について伺う。	

質問者	通告 8 番 4 番 和田 紀昭 議員	通告時間 50 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	くらしを支える地域公共交通の充実について	
要 旨	<p>相和地区における路線バスの減便、免許返納後の移動手段の確保、さらに新たな交通ネットワークの構築を課題に、既存の公共交通網の見直しが必要であるとの考えから大井町地域公共交通計画が策定され、令和 4 年度は公共交通対策費として約 2,000 万円弱の予算が組まれている。計画開始から約 1 年が経過したが現況と課題、改善について以下のとおり伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 巡回バスの利用状況と課題、アンケート結果は。</li> <li>2 今後、本計画の改善は。</li> <li>3 大井町地域公共交通会議の委員に町民代表の人数が少ないと感じるが町の見解は。</li> <li>4 免許返納者パス導入の検討は。</li> <li>5 デマンドバスや車両の小型化についての検討は。</li> <li>6 交通弱者の視点でさらなる改善は。</li> <li>7 長期休業中等の通学対応は。</li> </ol>	

質問者	通告 9 番 1 3 番 伊藤 奈穂子 議員	通告時間 6 0 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 子育て支援策の充実について 2 デフリンピック支援と共生社会の推進について	
要 旨	<p>1 少子化が進み、孤立感や経済的な不安感を抱えている家庭も少なくない。このような中であって、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産、子育てができる環境整備が喫緊の課題である。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 給食費軽減の財源確保策は。</p> <p>(2) 子どもが安心して過ごせる居場所を設置する考えは。</p> <p>(3) 妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の取組は。また必要な体制整備は。</p> <p>(ア) 家事支援員の育成は。</p> <p>(イ) グリーフケアについて見解は。</p> <p>2 2025年に、聴覚障がい者の五輪と呼ばれる「デフリンピック」の大会が日本において初めて開催される。この期を捉え、障がい者スポーツの周知など共生社会の推進が必要と考え、以下について伺う。</p> <p>(1) 障がい者がスポーツや文化芸術に取り組むための環境や基盤整備は。</p> <p>(2) 共生社会の推進のための啓発活動は。</p> <p>(3) 男性トイレにサニタリーボックスを設置する考えは。</p> <p>(4) 専用の回収ボックスを設置し、家庭用の使用済み紙おむつを回収する考えは。</p>	